

兵庫県ケアラーの実態に係る福祉機関 調査票

○ケアラー実態調査票

○ヤングケアラー実態調査票

兵庫県 令和3年度 ケアラーに関する実態調査

1 調査の対象

この調査は、ケアラー（こころやからだに不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする人）を対象としています。

<こんな人がケアラーです（イメージ）>



障害のあるこどもの子育て・
障害のある人の介護をしている



健康不安を抱えながら高齢
者が高齢者をケアしている



仕事と病気の子どもの看
病でほかに何もできない



仕事を辞めてひとりで
親の介護をしている



遠くに住む高齢の親が心配
で頻繁に通っている



目を離せない家族の見守り
などのケアをしている



アルコール・薬物依存やひきこ
もりなどの家族をケアしている



障害や病気の家族の世話や
介護をいつも気にかけている

出典：一般社団法人 日本ケアラー連盟

2 調査対象地域

あなたが民生委員・児童委員として受け持っておられる地域とします。

3 調査の基準

令和3年4月1日（木）とします。

※基準日時点で把握されている情報でご記入ください。当アンケート調査への回答のための個別訪問や関係先等への照会は行っていただく必要がありません。

4 調査結果の取り扱い

- ・回収した調査票は厳重に保管し、集計後速やかに破棄します。
- ・集計はデータを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ・調査結果は今後のケアラー支援策に生かしてまいります。

（お問い合わせ先）

兵庫県 健康福祉部 社会福祉局 地域福祉課 地域福祉班

TEL：078-362-3181 FAX：078-362-4262

メール：chiikifukushi@pref.hyogo.lg.jp

○あなたの受け持ち地域に、現在、ケアラーに該当する方がいる場合、その方の状況について、わかる範囲で教えてください（回答は回答用紙に記入してください）。

ケアラーご本人について

問1 性別 ①男性 ②女性 ③無回答

問2 年齢

- ①10歳代（高校生以下は除く） ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代
⑦70歳代 ⑧80歳以上

問3 同居家族（ ）人

問4 就労等の状況

- ①正規雇用 ②非正規雇用 ③自営業 ④家族従業者 ⑤主婦（夫） ⑥無職
⑦大学生、短大生、専門学校生等 ⑧その他（ ）

ケアラーがケアをしている相手の状況について

問5 ケアをしている相手（例：実母、義父など）（ ）

問6 性別 ①男性 ②女性 ③無回答

問7 年齢

- ①10歳未満 ②10歳代 ③20歳代 ④30歳代 ⑤40歳代 ⑥50歳代 ⑦60歳代
⑧70歳代 ⑨80歳以上

問8 生活場所

- ①在宅（同居） ②在宅（別居） ③施設入居中 ④病院に入院中
⑤その他（ ）

問9 健康状態（複数回答可）

- ①病気 ②難病 ③身体障害 ④知的障害 ⑤精神障害 ⑥発達障害
⑦医療的ケアが必要な障害児 ⑧高次脳機能障害 ⑨依存症 ⑩認知症
⑪高齢・老化による心身機能の低下 ⑫その他（ ）

問10 行っているケアの内容（複数回答可、そのうち最も負担を感じると思われる項目の1つの左横に☆をつけてください）

- ①買い物、食事の用意や後片付け、洗濯、掃除等の家事
②買い物同行などの外出の援助
③通院の援助
④ATMでの入出金や各種料金の支払いなどの金銭管理

- ⑤屋内の移動、入力、排泄、着替え、食事などの身体的な介護
- ⑥本人の気持ちを支えるために、話しかけたり、そばにいるなどの見守り
- ⑦徘徊や昼夜逆転などの認知症への行動への対応やその防止のための見守り
- ⑧服薬の声かけや準備、体温や血圧測定などの医療関連の手助け
- ⑨経管栄養の管理や痰の吸引などの医療的ケア
- ⑩役所や事業所等との連絡や書類などの諸手続
- ⑪その他 ()

問 11 ケアの相手方が利用している（したことがある）サービス（複数回答可）

- ①通所サービス ②訪問サービス ③宿泊サービス ④移送支援サービス
- ⑤移動支援 ⑥その他 () ⑦利用していない

問 12 ケアをしている頻度

- ①毎日 ②週4～6日 ③週2～3日 ④週1日 ⑤月に数日 ⑥その他 ()

問 13 1日にケアをしている時間

- ①1時間未満 ②1時間以上2時間未満 ③2時間以上4時間未満
- ④4時間以上6時間未満 ⑤6時間以上8時間未満 ⑥8時間以上

問 14 ケアをしている期間

- ①20年以上 ②10年以上20年未満 ③5年以上10年未満 ④3年以上5年未満
- ⑤1年以上3年未満 ⑥1年未満

ケアラー本人がケアによって受けている影響

問 15 健康状態（複数回答可）

- ①身体的不調がある ②精神的不調がある ③睡眠不足 ④通院中
- ⑤持病があるが通院できない ⑥健康診断に行く時間がない ⑦休養がとれない
- ⑧運動不足 ⑨その他 ()

問 16 ケアによる就労・就学への影響

ケアラーが現在就労・就学している（または就労・就学していた）場合、次にあてはまるものがあればお答えください。（複数回答可）

（就労関係）

- ①ケアのために退職した（→問 18にもお答えください）
- ②ケアのために勤務時間を減らした ③ケアのために転職した
- ④ケアのために就労経験がない ⑤就労状況に変化はない

（就学関係）

- ⑥ケアのために進学をあきらめた
- ⑦学校を休みがちになっている ⑧学校への遅刻が多い ⑨部活ができない
- ⑩勉強の時間が充分に取れない ⑪授業に集中できない ⑫成績が落ちた

- ⑬友人と遊ぶことができない
- ⑭進路についてしっかり考える余裕がない
- ⑮ケアのために退学した（→問18にもお答えください）
- （その他）
- ⑯周囲の人と会話や話題が合わない
- ⑰ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる
- ⑱睡眠不足
- ⑲⑩しっかり食べていない
- ⑲⑪体がだるい
- ⑲⑫自分の時間が取れない

問 17 就労を続けられている理由（複数回答可）※就労を続けている方について記載

- ①各種サービスの利用
- ②家族のサポート
- ③勤務時間の短縮
- ④配置転換・勤務地変更
- ⑤転職
- ⑥介護休暇の取得
- ⑦相談先の紹介
- ⑧その他（ ）

問 18 ケアのために退職・退学した理由（複数回答可）※退職・退学した方について記載

- ①身体的疲労
- ②精神的疲労
- ③代わりにケアを担う人がいない
- ④サービスが利用できなくなった
- ⑤業務が多忙でケアの時間がとれない
- ⑥ケアと両立できる職場環境ではなかった
- ⑦退職を勧められた
- ⑧その他（ ）

ケアに関する相談（複数回答可）

問 19 ケアラー以外で、ケアに協力してくれる人（複数回答可）

- ①父
- ②母
- ③祖父
- ④祖母
- ⑤兄弟・姉妹
- ⑥親戚
- ⑦近所の人や知人
- ⑧医療従事者やサービス事業所の人
- ⑨その他（ ）
- ⑩誰もいない

問 20 ケアラーが信頼して相談している窓口や機関（複数回答可）

- ①ケアラーの家族
- ②家族会
- ③地域包括支援センター
- ④ケアマネジャー
- ⑤障害者（児）相談支援事業所
- ⑥子育て支援機関
- ⑦民生委員・児童委員
- ⑧医療機関
- ⑨サービス事業所
- ⑩電話相談窓口
- ⑪その他（ ）

問 21 ケアラー本人の生活や人生に関する悩み（複数回答可）

- ①心身の健康
- ②経済的な問題
- ③仕事に就けない
- ④職場の人間関係
- ⑤仕事とケアと生活とのバランス
- ⑥学校にいけない
- ⑦ケアをしている相手との関係
- ⑧家族関係
- ⑨近隣との関係
- ⑩医療機関やサービス事業所との関係
- ⑪行政との関係
- ⑫自分の自由な時間が取れない
- ⑬ケアしている相手へのサービスの質・量の不足
- ⑭ケアラーの緊急時、ケアをしている相手へのサービス
- ⑮将来への見通しが持てない
- ⑯ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる
- ⑰その他（ ）
- ⑱特にない

※ケアラーお一人につき、1枚の回答用紙をお使いください。

※該当する番号や数字、内容を記載してください。「その他」を選んだ場合は、その番号と内容を回答欄に記載してください。

※わからない（回答できない）項目は、空欄のままご提出ください。

市町名 { } 区名 { }
(神戸市のみ)

ケアラーご本人について				
問 1		問 2		問 4
ケアラーがケアをしている相手の状況について				
問 5		問 6		問 8
問 9			問10	
問11			問12	問13
ケアラー本人がケアによって受けている影響				
問15			問16	
問17			問18	
ケアに関する相談				
問19			問20	
問21			問22	
求める支援				
問23				
新型コロナウイルス感染症対策の前後でケアの状況の変化				
問24				
行政や関係機関等への要望				
問25				
新型コロナウイルスの影響で特に困ったこと				
問26				

兵庫県 令和3年度 ヤングケアラーに関する実態調査

1 調査の対象

この調査は、ヤングケアラー（こころやからだに不調のある人の「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などを無償でケアする18歳未満の人）を対象としています。

＜こんな人がヤングケアラーです（イメージ）＞



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

出典：一般社団法人 日本ケアラー連盟

2 調査対象地域

あなたが民生委員・児童委員として受け持っておられる地域とします。

3 調査の基準

令和3年4月1日（木）とします。

※基準日時時点で把握されている情報でご記入ください。当アンケート調査への回答のために個別訪問や関係先等への照会を行っていただく必要はありません。

4 調査結果の取り扱い

- ・回収した調査票は厳重に保管し、集計後速やかに破棄します。
- ・集計はデータを統計的に処理して行いますので、個人が特定されることはありません。
- ・調査結果は今後のケアラー支援策に生かしてまいります。

（お問い合わせ先）

兵庫県 健康福祉部 社会福祉局 地域福祉課 地域福祉班

TEL：078-362-3181 FAX：078-362-4262

メール：chiikifukushi@pref.hyogo.lg.jp

○あなたの受け持ち地域に、現在、ヤングケアラーに該当する子どもがいる場合、その方の状況について、わかる範囲で教えてください（回答は回答用紙に記入してください）。

ヤングケアラーご本人について

問1 性別 ①男性 ②女性

問2 就学の状況

①小学生 ②中学生 ③高校生

問3 年齢

() 歳

問4 表紙の「こんな人がヤングケアラーです」のイラストを見て、本人は「ヤングケアラーである」との認識を持っていますか。

①持っている ②持っていない

ヤングケアラーがケアをしている相手の状況について

問5 ヤングケアラーとの関係（例：実母、義父など） ()

問6 性別 ①男性 ②女性

問7 年齢

①10歳未満 ②10歳代 ③20歳代 ④30歳代 ⑤40歳代 ⑥50歳代 ⑦60歳代
⑧70歳代 ⑨80歳以上

問8 生活場所

①在宅（同居） ②在宅（別居） ③施設入居中 ④病院に入院中
⑤その他（)

問9 ケアをしている相手の状況（複数回答可）

①病気 ②難病 ③身体障害 ④知的障害 ⑤精神障害 ⑥発達障害
⑦医療的ケアが必要な障害児 ⑧高次脳機能障害 ⑨依存症 ⑩認知症
⑪高齢・老化による心身機能の低下 ⑫幼い（未就学、小学生）
⑬その他（)

問10 行っているケアの内容（複数回答可、そのうち最も負担を感じると思われる項目1つの左横に☆をつけてください）

①家の中の家事（食事の用意、後片付け、洗濯、掃除など）をしている。
②家庭管理（買い物、家の修理仕事、重いものを運ぶなど）をしている。
③金銭管理（請求書の支払い、銀行でのお金の出し入れなど）をしている。

- ④家計支援（家族のためにバイトで働くなど）をしている。
- ⑤言語やコミュニケーションのサポート（家族のために通訳をする、書類や手紙などを説明して対応するなど）をしている。
- ⑥医療関連の手助け（薬を飲んだか確かめるなど）をしている。
- ⑦通院の介助をしている。
- ⑧入院や入所をしている家族に会いに行く。
- ⑨医療的ケア（経管栄養の管理や痰の吸引など）をしている。
- ⑩身の周りのケア（衣服の脱着の介助、入浴・トイレの介助、移動介助など）をしている。
- ⑪感情面のケア（その人のそばにいる、元気づける、話しかける、見守る、その人を散歩などで外に連れ出したりする）をしている。
- ⑫きょうだいのケア（自分一人で、あるいは親と一緒に、きょうだいの世話をする）をしている。
- ⑬その他（具体的に： _____)

問 11 ケアの相手方が利用しているサービス（複数回答可）

- ①通所サービス ②訪問サービス ③宿泊サービス ④移送支援サービス
- ⑤移動支援 ⑥その他（ _____ ） ⑦利用していない

問 12 ケアをしている頻度

- ①毎日 ②週4～6日 ③週2～3日 ④週1日 ⑤月に数日 ⑥その他（ _____)

問 13 1日にケアをしている時間

- ①1時間未満 ②1時間以上2時間未満 ③2時間以上4時間未満
- ④4時間以上6時間未満 ⑤6時間以上8時間未満 ⑥8時間以上

問 14 ケアをしている期間

- ①小学校入学前から ②小学校1～3年生頃 ③小学校4～6年生頃
- ④中学生のとき ⑤高校生になってから

問 15 ケアをしている理由（複数回答可）

- ①親の病気や障害、精神疾患、入院のため ②ひとり親家庭であるため
- ③親が仕事で、忙しいため ④年下のきょうだいがいるため
- ⑤祖父母の病気や加齢、入院のため ⑥きょうだいに障害があるため
- ⑦親が家事をしない状況のため ⑧親にとって日本語が第一言語でないため
- ⑨福祉サービスを利用していないため ⑩他にケアをする人がいなかったため
- ⑪ケアをしたいとケアラー自身が思ったため
- ⑫その他（具体的に： _____)

問 16 ヤングケアラー以外で、ケアに協力してくれる人（複数回答可）

- ①父 ②母 ③祖父 ④祖母 ⑤姉 ⑥兄 ⑦妹 ⑧弟 ⑨親戚 ⑩近所の人
⑪知人 ⑫ヘルパーや福祉サービスの人 ⑬その他（具体的に： ）
⑭誰もいない（本人だけ）

ヤングケアラー本人がケアによって受けている影響

問 17 ケアをしているために、ヤングケアラーの生活にどんな影響がでていますか（複数回答可）。

- ①学校を休みがちになっている ②学校への遅刻が多い ③部活ができない
④勉強の時間が充分に取れない ⑤授業に集中できない ⑥成績が落ちた
⑦友人と遊ぶことができない ⑧周囲の人と会話や話題が合わない
⑨ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる ⑩ストレスを感じている
⑪睡眠不足 ⑫しっかり食べていない ⑬体がだるい ⑭自分の時間が取れない
⑮進路についてしっかり考える余裕がない ⑯受験の準備ができていない
⑰アルバイトができない ⑱特に影響はない

問 18 ケアに関する悩みや不満、愚痴を話せる人（複数回答可）

- ①父 ②母 ③兄弟姉妹 ④祖父 ⑤祖母 ⑥親戚 ⑦友人 ⑧担任の先生
⑨保健室の先生 ⑩スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
⑪福祉サービスの人（介護職員、ヘルパーなど） ⑫医師 ⑬看護師
⑭近所の人 ⑮アルバイト先の人 ⑯SNS上で出会った人
⑰電話相談のスタッフ
⑱その他（具体的に： ）
⑲いない

求める支援

問 19 ヤングケアラー本人に必要と思われる支援（複数回答可、そのうち最も必要と思う項目 1 つの左横に☆をつけてください）

- ①電話や訪問による相談体制の整備 ②ヤングケアラーに役立つ情報の提供
③気軽に休息や睡眠がとれる機会の確保 ④気軽に情報交換できる環境の紹介・提供
⑤勤務しやすい柔軟な働き方 ⑥就労及び再就職への支援
⑦24 時間対応の在宅サービスの提供 ⑧入居施設等の生活の場の整備・充実
⑨災害時も含め、緊急時に利用できてケアをしている相手の生活を変えないサービス
⑩社会的なヤングケアラー支援への理解
⑪専門職や行政職員のヤングケアラー支援への理解
⑫経済的支援 ⑬ヤングケアラーの健康管理への支援
⑭その他（ ）

その他

問 20 新型コロナウイルス感染症対策の前後でケアの状況の変化

- ①負担が増えた ②負担が減った ③変わらない

問 21 ヤングケアラーに関する行政や関係機関等への要望を自由にお書きください。

[]

問 22 新型コロナウイルスの影響で、ケアに関して特に困ったことがありましたら、お書きください。

[]

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

※ヤングケアラーお一人につき、1枚の回答用紙をお使いください。

※該当する番号や数字、内容を記載してください。「その他」を選んだ場合は、その番号と内容を回答欄に記載してください。

※わからない（回答できない）項目は、空欄のままご提出ください。

市町名 区名
(神戸市のみ)

ヤングケアラーご本人について									
問1		問2		問3		問4			
ヤングケアラーがケアをしている相手の状況について									
問5				問6		問7			
問8				問9					
問10								問11	
問12		問13		問14					
問15						問16			
ヤングケアラー本人がケアによって受けている影響									
問17									
ケアに関する悩みや不満、愚痴を話せる人									
問18									
ヤングケアラー本人に必要と思われる支援									
問19									
新型コロナウイルス感染症対策の前後でケアの状況の変化									
問20									
行政や関係機関等への要望									
問21									
新型コロナウイルスの影響で特に困ったこと									
問22									